

第14回(平成5年度)研究助成金, 海外派遣・招聘補助金受領者

I 癌研究助成金 (1件200万円, 1件, 総額200万円, 応募件数5件)

「肝癌(障害)発生過程におけるP450IA2の変動とその制御機構について」

(東北大・薬・助手) 出川 雅 邦

II 研究助成金 (1件100万円, 10件, 総額1,000万円, 応募件数42件)

「膜作用性ペプチドの構造と脂質二重層膜におけるイオンチャンネル活性との

関係についての平面膜法を用いた研究」

(放射線医学総合研・主任研究官)

安西 和 紀

「新規光学活性単座リン配位子の設計と触媒的不斉合成反応への応用」

(北大・触媒化学研究センター・助手)

魚住 泰 広

「抗腫瘍性マクロリドRhizoxinの全合成を基盤とする, ホモログ, アナログ合成と

その構造活性相関, 生物有機化学的研究, 及びそのための

触媒的不斉合成法の開発」

(東大・薬・助手)

中田 雅 久

「糸球体腎炎における単球遊走蛋白質-1(MCP-1)の役割」

(国立国際医療センター研・室長)

名取 泰 博

「炭素環形成反応における選択性の制御と新手法の開発」

(富山医薬大・薬・講師)

武田 敬

「蛋白質による核酸塩基識別における特異的相互作用と

非特異的相互作用の構造的基礎」

(阪大・薬・助手)

箱嶋 敏 雄

「神経系ガングリオシド分子の構造多様性とその生物学的意義

—新手法によるガングリオシド機能解析へのアプローチ—

(理研・国際フロンティア糖細胞情報チームリーダー)

平林 義 雄

「Alkyne-Co 錯体及びBenzaldehyde-Cr 錯体を合成素子とする

生理活性化合物の高立体選択的合成」

(金沢大・薬・助教授)

向 智 里

「動物細胞における液胞型H⁺輸送性ATPaseの構造と生理機能に関する研究」

(阪大・産業科学研・助手)

森山 芳 則

「カルシウム結合蛋白質レギュカルチンによる肝細胞核機能の調節とその機構」

(静岡県立大・大学院生活健康科学・教授)

山口 正 義

III 研究者の海外派遣補助金 (1件40万円以内, 6件, 総額180万円)

(前期)(応募件数2件)

「生命科学領域の教育, 研究, 試験における代替法と動物使用に関する世界会議」

1993.11.14~19 米国・ボルチモア

(千葉大・薬・助教授)

上野 光 一

「アメリカ腎臓学会第26回年会」1993.11.14~17 米国・ボストン

(国立国際医療センター研・室長)

名取 泰 博

(後期)(応募件数6件)

「金属と遺伝に関する国際シンポジウム」1994.5.24~27 カナダ・トロント

(北里大・薬・教授)

井村 伸 正

「細菌細胞表層に関するゴードン会議」1994.7.10~15

米国・ニューハンプシャー州・ウェルフェボロ

(千葉大・薬・助手)

柿沼 喜 己

「第3回バイオセンサー国際会議」1994.6.1~3

米国・ルイジアナ州・ニューオリンズ

(東大・先端科学技術研究センター・助教授)

竹内 俊 文

「第6回生物医学分析におけるルミネッセンス分光法に関する国際会議」

クロマトグラフィー及びキャピラリー電気泳動での検出技術と応用

1994.6.5~7 ベルギー・ブルージュ

(長崎大・薬・助教授)

中島 憲一郎

IV 海外からの研究者招聘補助金（1件50万円，2件，総額100万円，応募件数5件）

「第67回日本薬理学会年会」1994.3.21～24 京都 （米国コロラド大・医・教授） ボリス タバコフ

「日本薬学会第114年会」1994.3.29～31 東京

（米国カリフォルニア工科大・教授） ピーター B. ダーバン